

令和2年度 北海道地域活動振興協会事業実施報告

1 地域活動振興事業

(1) 普及・啓発事業

① 環境美化運動の推進

北海道クリーン作戦推進会議を構成する関係機関・団体と連携し、「ポイ捨てゼロの日」を設定して環境美化に向けた運動を推進しました。

② 地域活動団体の表彰等

効果的な地域活動の推進を図るため、環境問題、青少年の健全育成や交通安全、健康増進等の活動を推進している全道段階の団体と連携し、相互に事業協賛などを実施しました。また、北海道や関係機関が取り組む、まちづくりに関連する表彰に、継続して「北海道地域活動振興協会理事長賞」を提供するなど、各種事業を協賛・後援しました。

【北海道地域活動振興協会理事長賞】

- ・表彰：「ごみの散乱防止などに関するポスター及び標語の入賞者」
(北海道循環型社会推進課)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、札幌に集合する表彰式は行わず、各振興局等から受賞者に贈呈

【主な協賛・後援】

- ・全道青年大会（北海道青年団体協議会）
- ・「わが村は美しくー北海道」運動コンクール（北海道開発局） ほか

(2) 情報提供事業

① 地域活動情報

協会の実施する事業概要や事業報告、助成金情報やイベント情報など地域活動に関する情報をホームページに掲載するとともに、ボランティア活動の助成団体を中心とした団体の活動を紹介しています。

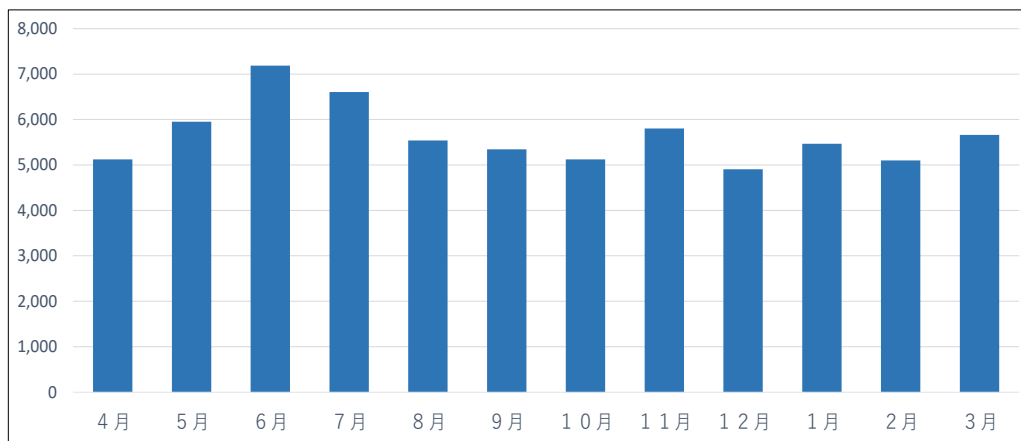
道内のボランティア活動の促進を図るため、道民がボランティア活動に興味を持ち参加の契機となるよう、ジャンル別・地域別等の検索システムを搭載したホームページやインターネット上でボランティアの募集情報の充実を図るため、機材整備・環境整備を行うとともに、ボランティア情報の収集・発信のため、団体等の登録・更新を進めました。

また、市町村・社会福祉協議会の賛助会員への定期的なメール配信及びSNS（フェイスブック）の活用により、協会事業やボランティア募集などの地域活動に関する情報の提供・収集を行った。

【ホームページアクセス数】

（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績	5,121	5,953	7,186	6,606	5,538	5,345	5,122	5,804	4,906	5,466	5,098	5,662	67,807



② 機関紙等の発行

協会事業の概要や事業報告等を掲載した「北海道地域活動だより」を、助成事業の募集開始時期に合わせて発行し、市町村・関係団体・個人等、賛助会員を中心に配布しました。

なお、ホームページで機関紙の閲覧が可能であるとともに、機関紙にQRコードを掲載し、ホームページにアクセスできるようにリンク機能を追加しました。

- ・7月発行：1,200部（A4・4ページ）



(3) 支援事業

① 地域活動団体の支援

新しい時代にふさわしいネットワークづくりをめざし、将来まちづくりの中核となつて活動する人材を育成するため、まちづくり推進活動支援事業として自発的・継続的に活動に取り組む団体に対し、活動費の一部を助成しました。

【まちづくり推進活動支援事業】(14団体)

市町村名	団体名・事業名
札幌市	NPO法人 ケアラーズ北海道 「With 人生百歳時代へ」
	一般社団法人 札幌経済交流・留学生支援機構 「留学生による子供たちのための『わくわく英会話』」
	まちラボ SAPPORO 「包括的支援体制の構築に向けた地域見守りネットワークづくり」
	NPO法人 みみをすますプロジェクト 「元気塾ユニオンハート 2020 夏・リフレッシュ保養『コロナに負けない元気塾』」
	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議 「ミニ縄文フェスタ」
恵庭市	NPO法人 まちづくりスポット恵み野 「市民ファシリテーション講座」
函館市	函館認知症の人を支える会 「もの忘れカフェ」
寿都町	寿都まちづくり協議会 「寿都の魅力発信事業」
滝川市	NPO法人 アートステージ空知 「共に歩き出そう『ふれあいまつり』感謝をありがとう」
深川市	NPO法人 中空知成年後見センター 「市民後見人が支える地域の後見活動」
旭川市	NPO法人 グリーンマザーズ 「障がい者対象『成人を祝う会』」
北見市	NPO法人 北見 NPO サポートセンター 「新生活スタイルの中での市民活動・まちづくり推進セミナー」
釧路市	くしろ高齢者劇団 「認知症のご家族への奇添い方」
白糠町	NPO法人 陽向ぼっこ 「子供食堂及び地域食堂」

② ボランティア活動の支援

【ボランティア活動支援事業】

ボランティア活動の実践団体に対して活動費の一部を助成しました。

・助成団体数：194団体

(圏域別内訳)

圏域	札幌市	道央圏	道北圏	道南圏	十勝圏	根釧圏	オホーツク圏	計
団体数	30	82	26	23	16	10	7	194

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

ボランティア団体や市民活動団体などが行う新型コロナウイルス感染症対策や関連事業に対して、経費の一部を助成しました。

・助成団体数：53団体

(圏域別内訳)

圏域	札幌市	道央圏	道北圏	道南圏	十勝圏	根釧圏	オホーツク圏	計
団体数	13	17	6	7	2	2	6	53

(4) コミュニティ再生事業

地域における住民の自主・連帯・協働によるコミュニティ再生や、これらを担う人材を育成することを目的に、コミュニティやまちづくり活動、NPOなどの地域活動に関心のある方等を対象に講座等を開催しました。

① 東川町大雪山国立公園保護協会（東川町）



大雪山の自然・文化・歴史的価値を理解し、類希なる貴重な資源を後世まで守り続けるとともに、持続可能な利活用、地域づくりに向けた取組みを行うことを目的に、山岳・観光地の医療・救助の現場に精通し、コロナ対策に取り組んでいる専門家を招聘し、ウイズコロナを見据えた「山岳医療・救助の現場から考える感染予防対策」をテーマに講演や地元ガイドによる新たなガイド・ツアーのパネルディスカッションなどによる「大雪山フォーラム」を開催した。

【共催】東川町大雪山国立公園保護協会

【会場】東川町：旭岳ビジターセンター

【講師】大城和恵氏（国際山岳医／山岳医療救助機構代表）
村上富一氏（北海道山岳ガイド協会 理事長）
四角友里氏（元北海道警察山岳遭難救助対策官）

【開催日】令和2年7月23日（木）・24日（金）

【参加人数】45名

② 3.11 SAPPORO SYMPO 実行委員会（札幌市）



東日本大震災を経験した人が気づき、学んだことをこれからのまちづくりに活かすことを目的に、今回はこの10年をふりかえり、これからを見据えていくために、会場ステージとオンライン配信による東日本大震災をさまざまな視点で捉え、伝えるシンポジウム（全10回）や今を伝える写真展・パネル展、災害・防災関連図書展示、桜展示・水仙の配布などによる3.11 SAPPORO SYMPO「11年目の3.11」を開催した。

【共 催】3.11 SAPPORO SYMPO 実行委員会

【会 場】札幌市：札幌駅前通地下歩行空間

【講 師】山田市雄 氏（陸前高田市立図書館 事務長）

三浦則子 氏（女川町生涯学習センター図書室）

野沢淳史 氏（東京大学大学院教育学研究員）

千葉 一 氏（(一社)前浜おらほのとおき

／石巻専修大学非常勤講師）

ほか

【開催日】令和3年3月10日（水）

令和3年3月11日（木）

【参加人数】 710名

③ 協働の地域づくり講演会（オンライン開催）



道内におけるさまざまな地域づくり活動をさらに発展・活性化させるため、活動に必要なコミュニケーションスキルの向上を図ることを目的に、「行動に役立つコミュニケーション」をテーマに協働の地域づくり講演会をオンラインで開催した。

【方 法】オンライン開催

【講 師】夏川立也 氏

（コミュニケーション・プロデューサー／

パワーコミュニケーション主宰）

【開催日】令和3年3月3日（水）

【参加人数】 4名



(5) 理事会・評議員会の開催

① 理事会

ア 第1回理事会（書面）

- ・決議日 令和2年5月21日（木）
- ・報告 理事長・常務理事の職務の執行状況報告
- ・協議 理事の任期満了に伴う選任予定者及び理事長、副理事長、常務理事候補者について
評議員の任期満了に伴う選任に係る予定者について
- ・議題 令和元年度事業報告（案）について
令和元年度収支決算（案）について
令和2年度第1回（定時）評議員会の開催について

イ 第2回理事会（書面）

- ・決議日 令和2年6月5日（金）
- ・議題 理事長、副理事長、常務理事の選任について

ウ 第3回理事会

- ・開催日 令和3年3月9日（火）
- ・場所 札幌市 かでる2・7 1040会議室
- ・報告 理事長・常務理事の職務の執行状況報告
- ・議題 令和3年度地域活動振興事業計画（案）について
令和3年度収支予算（案）について
令和2年度第2回評議員会の開催について

② 評議員会

ア 第1回評議員会（書面）

- ・決議日 令和2年6月5日（金）
- ・議題 令和元年度事業報告（案）について
令和元年度収支決算（案）について
理事の任期満了に伴う選任について
評議員の任期満了に伴う選任について

イ 第2回評議員会

- ・開催日 令和3年3月22日（月）
- ・場所 札幌市 かでる2・7 1040会議室
- ・議題 令和3年度地域活動振興事業計画（案）について
令和3年度収支予算（案）について

2 北海道立市民活動促進センター事業

北海道の市民活動を促進するため、相談対応、情報の収集・提供、学習機会の提供、人材の育成事業、必要な調査研究事業などを実施し、市民活動を実践している方や市民活動を始めようとする方などが、いつでも、誰でも利用しやすく、また、愛着をもって利用できるよう、市民活動促進センター（以下「センター」といいます。）の管理運営を行いました。

（１）相談事業

相談員3名を配置し、職員とともに市民活動に関する各種相談に対応しました。

また、会計・税務に関することなど専門的知識が必要となる相談については、それぞれ税理士の専門家に意見を求め対応しました。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	22	9	23	18	15	11	7	8	9	13	18	30	183

（２）情報提供事業

① インターネットにおける情報提供

コロナ禍における市民活動団体への支援策などの情報等提供を行いました。

センターホームページに掲載しているイベントカレンダー及び、図書の閲覧システム、市民活動団体情報検索システムなどの更新をはかり、内容の充実に努めました。

また、市民活動団体情報の提供（市民活動団体データベース情報システムの運用）、各市民団体が主催するイベント・セミナー、助成金情報、センターが主催する講座等の各種情報の提供に努めました。

市民活動団体情報検索システムに登録している市民活動団体で、Eメールがある団体については、一斉送信による情報提供を行いました。

② 図書等の充実

市民活動の参考書として、市民活動に関する刊行物を購入しました。

③ 広報活動

センターパンフレット「北海道立市民活動促進センター」を作成し、市町村、各振興局等に送付したほか、センターが主催する講座等の受講者や初めて来所された方々に配布し、センターの施設概要や機能、利用等について周知しました。

また、日本語ボランティア団体が定期的に利用していることにより、外国人の利用者も多いことから、英語、中国語、韓国語、ロシア語のパンフレットも備えています。

情報紙「市民活動情報」は、市民活動の促進に役立つ情報やイベント情報などを主体に7月、11月、3月の年3回発行し、各振興局、市町村、道内外の中間支援組織等に配布しました。（1回4,000部）

また、新型コロナウイルス感染症対策の臨時特別号を5月、7月に発行し、各市町村、道内の中間支援組織等にメールにて送信しました。

④ 施設連携

センターと「かでの2・7」内の道立女性プラザ及び道立生涯学習推進センターの共催で利用促進事業を行いました。

- ・3施設紹介パネル展：2020年11月10日(火)～2020年11月13日(金)
- ・3施設紹介動画：2020年3月から公開

⑤ 利用者満足度調査

サービス向上や使いやすいセンター運営とするため、利用者の満足度を把握するアンケート調査を実施しました。

- ・調査実施期間：2020年8月1日～2020年9月15日
- ・調査票回収数：99

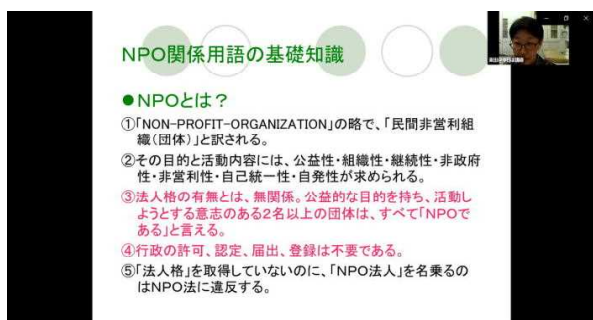
(3) 学習機会の提供事業

学習機会を提供する事業の実施にあたっては、市民活動に関心のある方を対象に、市民活動の基礎的知識の習得と市民活動の実例に触れる講座と位置づけ、市民活動への参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

また、市民活動団体の育成を図り、市民活動の促進に資するため、市民活動団体と協力した講座も開催しました。

① NPO基礎講座（2回開催（うち1回オンライン）、参加人数14名）

コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動に関心のある方、特定非営利活動法人（NPO法人）の設立を考えている人を対象に、NPOとNPO法人の基礎知識、NPO法人設立に必要な手続き及び書類作成に関する知識の習得を図ることを目的に開催しました。



【開催日・参加人数】

開催日	参加人数
令和2年 10月 20日(火)	6名
令和3年 2月 25日(木)	8名
計	14名

【内容】

- ・講義：
「市民活動の基礎知識」
「NPO法人設立するための要件や
手続きについて」
- ・講師：東田 秀美 氏
(NPO 法人旧小熊邸倶楽部理事長)

② 公募企画講座（3回開催、参加人数638名）

コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動を広く一般に理解していただくことや、市民活動を促進することを目的とした講座やパネル展、展示会などの企画を公募し、採択した市民活動団体と共催で実施しました。



■ 「新スタイルで楽しむイベント パネル展」

開催日：令和2年10月23日（金）、
24日（土）、26日（月）

開催場所：釧路市民活動センターわっと

共催団体：NPO法人くしろ・わっと

参加人数：180名（1日60名程度）

内容：一般市民に向けて感染拡大防止策を講じた新スタイルのイベントの在り方について周知を図ることを目的に開催

・パネルディスカッション

「新しいイベント様式の実践例」

コーディネーター：小林友幸氏

（NPO法人くしろ・わっと 理事長）

パネリスト：釧路市内4団体



■ 「災害時に知っておきたいトイレの備え」

開催日：令和2年10月31日（土）

開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター

共催団体：NPO法人NPOサポートはこだて

参加人数：26名

内容：災害時の非常用トイレの使い方と、そのためにどのような備えをしておけば良いのかを学ぶことで、災害に強い地域づくりを学ぶために開催

・講演「災害時のトイレの備え」

講師：加藤篤氏

（NPO法人日本トイレ研究所 代表理事）

・災害トイレ訓練ワークショップ



■ 「創立50周年記念 活動紹介パネル展」

開催日：令和3年2月6日（土）

開催場所：札幌駅前通地下広場 憩いの空間

共催団体：NPO法人演劇鑑賞会北座

参加人数：432名

内容：「人と人とのつながり、居場所作り、コミュニケーション教育、対話の面白さ」等、演劇が生み出すありとあらゆるものに触れるきっかけとして開催

- ・パネル展示
- ・観劇サポート事業展示

③ 市民活動ステップアップ講座（1回開催（3回予定）、参加人数8名）

様々な地域課題の解決や市民活動関係者・職員等のスキルアップを図ることを目的に、中間支援組織との連携を図り、協働促進や新たなコミュニティなどをテーマとした講座を開催しました。

■ 「地域の人口構造から未来の姿を考え、

行動する手法を学ぶ」

開催日：令和3年3月19日（金）

開催場所：オンライン（ZOOM）

共催団体：札幌市市民活動サポートセンター

参加人数：8名

内容：少子化、高齢化、人口減少により未だ経験のない課題解決のためには、小さな地域でも「できること」を増やす地域づくり「小規模多機能自治」に取り組むことが必要です。

今回「小規模多機能自治」に取り組む全国の事例や、進めるための方法、推進する計画などについて学びました。

- ・ミニワーク

「北海道における

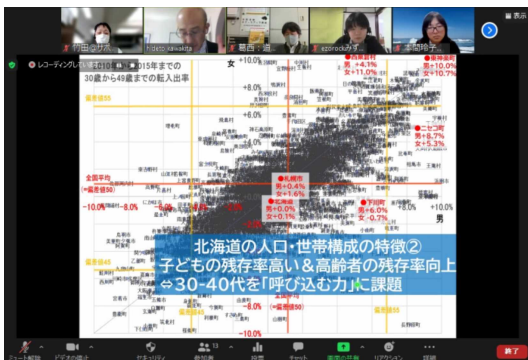
小規模多機能自治推進の意義と必要性」

講師：川北秀人氏

(IIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人)

※講座修了後、「小規模多機能自治推進ネットワーク・北海道ブロック会議」が開催されました。



(4) 人材の育成に関する業務

少子・高齢化社会が進み、地域社会の人口の構成が大きく変わる中で、地域課題は多種多様になり、地域のNPO法人及びNPOの各種相談にあたっている市民活動中間支援組織等の役割が大きくなることが想定されます。道内の市民活動を促進するためには、中間支援組織等の連携や適切な助言が必要となることから、市民活動推進アドバイザーを委嘱し助言等に当たるほか、スキル向上のための講座を開催しました。

① 市民活動推進アドバイザーの委嘱

道内の市民活動中間支援センター職員を対象に市民活動推進アドバイザーを委嘱し、地域内のNPO法人設立や組織運営等に関する相談にあたり道内の市民活動の促進に努めました。

・委嘱した市民活動推進アドバイザー

氏名	中間支援センター名
遠藤 佑介	札幌市市民活動サポートセンター
干野 里佳	江別市民活動センター・あい
木俣 詠美子	千歳市民活動交流センター ミナクール
平井 梓	まちづくりスポット恵み野
木下 宏子	室蘭市市民活動センター
牧野 直樹	白老町民活動サポートセンター
天野 虎次郎	釧路市民活動センターわっと
本多大輔	つきがた design

② 市民活動スタッフ養成講座（5回開催（うち2回オンライン）、参加人数64名） 市民活動中間支援センター職員、スタッフの能力向上を目的に開催しました。



■ 令和2年8月20日（木）

参加人数：13名

- ・「困った会議、理想の会議」
- ・「ファシリテーション・グラフィック」
- ・「会議の基礎知識・4つの段階」

講師：宮本 奏氏

（NPOファシリテーションきたのわ）

内容：会議の観察、進行にチャレンジ

- ・「中間支援組織等ネットワーク交流」



■ 令和2年9月17日（木）

参加人数：14名

・「今だからできるNPOの広報」

講師：吉田知津子氏

（NPO法人沖縄NGOセンター理事）

内容：伝わる原理、広報はたくさんの人に伝えようとするとならなくなる。6つのDon、広報の手段

100本ノック、「わたし」の広告作成

・「中間支援組織等ネットワーク交流」



■ 令和2年10月20日（火）

参加人数：14名

・「NPOの会計」

講師：瀧谷和隆氏

（税理士、NPO法人APIジャパン理事長）

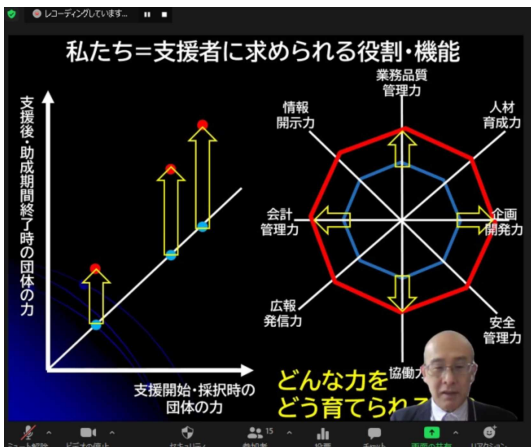
内容：NPO法人の目的と会計の役割、会計基準、貸借対照表の公告、収支決算書と活動計算書、6つのチェックポイント

・「企業との協働」

講師：加納尚明氏

（NPO法人札幌チャレンジド理事長）

内容：企業の動向、企業と一緒に考える視点、連携成功NPOのポイント、SDGsについて、企業はなぜ社会貢献活動を行うのか、企業への提案ワークショップ



■ 令和3年3月15日（月）

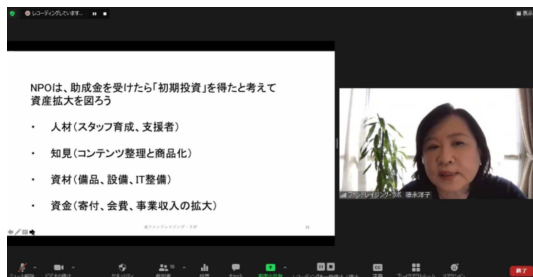
参加人数：10名

・「NPOのマネジメントと支援」

講師：川北秀人氏

（IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者・ソシオ・マネジメント編集発行人）

内容：COVID-19は「既存の課題の加速器・レンズ」、今までの活動のオンライン化、人とインフラの「2つの高齢化」、2020年の北海道は？、支援センターが持つべき7つのチカラ



■ 令和3年3月24日（水）

参加人数：13名

・「ファンドレイジング」

講師：徳永洋子氏

（ファンドレイジング・ラボ／

日本ファンドレイジング協会理事）

内容：助成金はネット情報戦、オンライン申請、助成金は「消費」ではなく「投資」として活用する、ファンドレイジングの意義＝共感の輪を広げて問題解決の促進、資金提供することの意義＝直接活動できなくても「思い」と「お金」を託す、善意の資金

■ 市民活動スタッフ養成講座の参加者のご意見・感想等

- ・ 講座内容について、どの講座も勉強になる事が本当に数多くありました。NPOの会計や協働など、NPOの職員としてまだまだ課題が数多くあるのだと思いました。
- ・ 道内各地の市民活動センターの方と情報交換・共有が行い、自分たちの団体と似た活動を行っている団体からアドバイスを頂いたりとても有意義な時間だと感じました。
- ・ 様々な方との出会いは財産だと思っています。また、広報、会計、協働等基本的なことも学べて良かったです。
- ・ センターとの接点がつくれたことが一番でした。
- ・ やはり、顔を合わせたの講座の方が、他センターの人と知り合えてネットワークもできたのではないかと思います。
- ・ 前向きで行動力のある講師や受講者の方々と出逢え、さまざまな活動内容を直に伺えたことは、おかげさまで大変よい刺激となり、勉強になりました。
- ・ 事務局の方々には、申込時点から終始、細やかなお気遣いでご対応くださり、心より感謝しております。貴重な学びの機会をいただき、誠にありがとうございました。
- ・ NPO活動を開始したばかりで、NPOを良く理解しておらず、活動経費についても無知であることを知った。自分たちがどうしてこの活動をやっているのかも堂々と言えるものではなかったが、約半年間の講座に参加し、自分と団体の成長を感じることができた。
- ・ コロナ禍の中で、悩んでいる点を分かち合えた点が心強かったです。貴重な機会でした。また、NPOの基礎講座、大変良い内容でした。具体的なシチュエーションが想起出来ました。

など

③ 中間支援センターへの支援（5組織支援、参加人数113名）

地域の市民活動の促進を図るため、道内の中間支援センターが主催する講座等に対して、要請に応じ経費の一部を負担し支援に努めました。

- NPO法人まちづくりスポット恵み野（恵庭市）
開催日：令和2年10月31日（土）他全5回
場 所：まちづくりスポット恵み野
事業名：「しごとBAR」
参加者：75名

- NPO法人旭川NPOサポートセンター（旭川市）
開催日：令和2年11月21日（土）
場 所：旭川市市民活動交流センター・CoCoDe
事業名：「コロナ時代のWeb会議の進め方」
参加者：12名

- NPO法人室蘭NPO支援センター（室蘭市）
開催日：令和2年12月5日（土）
場 所：生涯学習センターきらん
事業名：「「寄付の教室」 in 室蘭」
参加者：17名

- NPO法人北見NPOサポートセンター（北見市）
開催日：令和3年1月23日（土）
場 所：夕陽ヶ丘オレンジスタジオ
事業名：「テレワーク、IT導入基礎研修」
参加者：4名

- NPO法人くしろ・わっと（釧路市）
開催日：令和3年1月30日（土）
場 所：釧路市民活動センターわっと
事業名：「Microsoft Word 基礎講座」
参加者：5名

④ 中間支援組織等ネットワーク促進（3回）

道内の中間支援組織スタッフや市民活動団体のスタッフが交流できる場を設け、コミュニケーションを図り、活動団体のネットワークづくりの促進に努めた。

- 開催日：令和2年8月20日（木）、令和2年9月17日（木）
令和3年3月24日（水）オンライン
- 内 容：センターや団体の活動・事業紹介し、コロナ禍におけるセンターや団体運営についての情報交換・共有を図った。

(5) 調査研究事業

テーマ：特定非営利活動促進法の設立の認証に係る事務処理に関するアンケート

NPO法人の事務処理に関するアンケートを行い、事務処理の権限移譲を受けている市町村が、それぞれどのような課題があるのかを把握し、北海道立市民活動促進センターとして市民活動を促進するための事業を検討するために実施した。

対象：事務処理の権限移譲を受けている北海道45市町村

結果：多くの自治体は、道庁などに相談しつつ事務処理を行っている一方で、NPOに関する基礎知識や、実務上の知識の不足などが課題となっている。

センターとしては、北海道の市民活動を促進していくために、自治体への情報提供能力の強化や市民活動講座の開催など、NPOへの理解を深めることができる事業を実施することで、権限移譲を受けている市町村を支援していく必要性を感じられた。

(6) 地域住民との協働環境づくりに関する業務

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、例年、対面で開催していた意見交換会を見送り、主に電話による聞き取りを行うことで、利用者の要望やコロナ禍での活動状況などを把握し、今後の運営に取り組んでいきます。

① 構成

構成については利用団体の中から、定期的に利用されている団体から選定しました。

- 令和3年3月中

選定した市民活動団体 5団体

日本語の会SORA
HIWA（北海道国際女性協会）
ガールスカウト北海道連盟
北手協（北海道手話通訳問題研究会）
ヒマラ山の会

② 要望等

- 無料で打ち合わせスペースを借りたり、低価格で印刷やカラープリントができ、センターの利用については満足している。

- コロナ対策の定員削減の解除は、いつ頃になるだろうか？

⇒感染状況次第であるが、当面の間、解除は難しいと思われ、他の施設（例えば、かでの2・7の会議室）と連動することが想定される。

- 当面は、集まる人数が少なく対応できるが、センターの定員削減の中、最大4コーナーだと厳しい場合もあると思う。

⇒予約は最大4コーナーであるが、当日、空いていれば他の予約コーナーの利用可能なので、申し出てください（女性プラザについても可）。

など

(7) 施設利用業務（管理業務実施状況）

① 指定管理業務の基本的な運営方針に基づく指定管理業務の実施状況

ア 開館日及び開館時間

(ア) 開館日：年末・年始（12月29日～1月3日）を除く日

北海道立道民活動センター「かでる 2・7」 休館日（5月4日・5日）

北海道・札幌市緊急共同宣言により休館（4月14日～5月31日）

※相談業務のみ受付

(イ) 開館時間：平日 午前9時～午後9時

土・日曜日、祝日 午前9時～午後6時

イ 各コーナーの状況

交流コーナー：予約6コーナー、フリー2コーナーを市民団体の打ち合わせや会議、作業などに利用いただくと共に、無料Wi-Fiを整備し提供しました（8月～）。

情報コーナー：パソコン2台を設置し、情報の収集や資料作成などに利用いただきました。

作業コーナー：印刷機、丁合機、裁断機を備え、市民活動の資料作成などに貸し出すと共に、作業に支障をきたさないよう機材の保守に努めました。

ウ その他

受付にはAED（自動体外式除細動器）や老眼鏡、外国語のパンフレット（英語、中国語、韓国語、ロシア語）を設置し、高齢者、障害者、外国人への配慮をするとともに、交流コーナーには給湯ポット、メモ用紙、ホワイトボードなどを備え、利用しやすく効果的な施設運営に努めました。

新型コロナウイルス感染症対策として、衛生用品の設置や利用者への検温の実施、利用人数の制限、利用確認カードによる利用者の把握に努めました。

② 組織体制、人員配置、研修等の実績

ア 組織体制及び人員の配置

職員3名、臨時職員等5名（うち市民活動相談員3名）の計8名体制で、受付窓口には常時2名を配置し、交流コーナー等の受付や利用案内及び市民活動相談、印刷機等の設備のトラブル対応など、スムーズな対応を行いました。

センターの運営については、毎月1回定例会議を開催し、センター運営についての事業進捗状況などを共有するほか、市民活動に関する相談については、実際の相談事例を基に、相談対応に対するレベルアップを図りました。

職員および相談員の体制

役職名	人数	摘 要
センター所長	1名	
職員	2名	
相談員	2名	市民活動団体所属
臨時職員	3名	事務補助
計	8名	

イ 職員研修

職員の資質の向上を図るため、職員研修会を開催するほか、市民活動団体が主催する講座等に参加しました。なお、研修内容については、直近のセンター職員定例会議において参加者が報告し、その情報について共有を図っています。

講座名等	開催日	参加人数	主催者・場所
災害時に知っておきたい トイレの備え	令和2年 10月 31日(土)	1名	函館市地域交流まちづくりセンター
北海道内 中間支援センター研修	令和2年 12月 4日(金)	※3名	北海道NPOサポートセンター 室蘭市市民活動センター
計		4名	

※1名については、ZOOMによるオンライン参加

③ 施設の利用状況

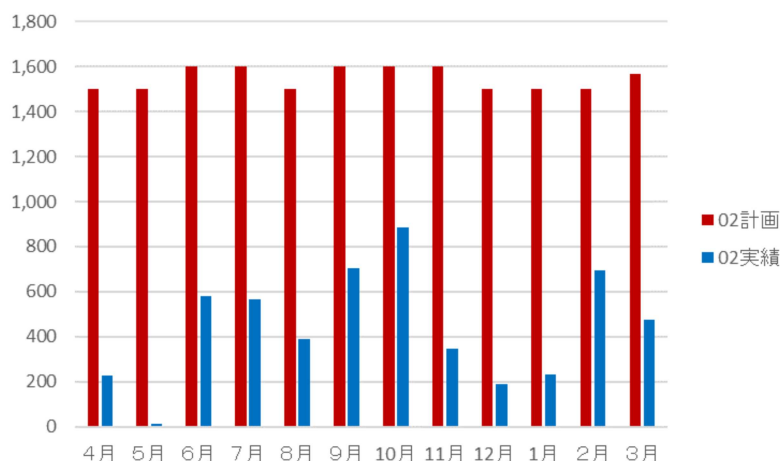
センターの利用状況については次のとおりです。

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談 コーナー	RO1	21	14	9	13	7	10	8	13	5	8	13	13	134
	RO2	22	9	23	18	15	11	7	8	9	13	18	30	183
交流 コーナー	RO1	1,237	1,144	1,259	1,179	617	1,106	1,257	1,122	884	849	896	25	11,575
	RO2	126	0	419	428	266	531	511	237	82	113	110	226	3,049
情報 コーナー	RO1	309	256	263	294	223	214	263	254	234	222	201	85	2,818
	RO2	63	0	94	82	54	111	92	72	60	76	90	129	923
作業室	RO1	126	67	79	78	83	54	86	62	69	51	51	76	882
	RO2	18	0	48	36	41	36	48	29	40	30	39	61	426
講座 参加者	RO1	0	0	0	50	40	32	53	41	0	0	6	70	292
	RO2	0	0	0	0	13	14	226	0	0	0	440	31	724
施設 利用者 計	RO1	1,693	1,481	1,610	1,614	970	1,416	1,667	1,492	1,192	1,130	1,167	269	15,701
	目標	1,500	1,500	1,600	1,600	1,500	1,600	1,600	1,600	1,500	1,500	1,500	1,570	18,570
	RO2	229	9	584	564	389	703	884	346	191	232	697	477	5,305
HP アクセス 数	RO1	4,306	3,832	4,111	4,329	3,933	4,386	4,473	4,452	4,324	3,749	4,057	3,756	49,708
	目標	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,250	51,550
	RO2	3,681	4,996	4,139	4,143	4,196	3,760	3,372	3,712	3,920	2,998	3,237	4,087	46,241

ア 施設利用者数〔目標値 18,570 人、実績 5,305 人、達成率 28.6 %〕

目標値より 13,265 人下回る結果となりました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
02 計画	1,500	1,500	1,600	1,600	1,500	1,600	1,600	1,600	1,500	1,500	1,500	1,570	18,570
02 実績	229	9	584	564	389	703	884	346	191	232	697	477	5,305



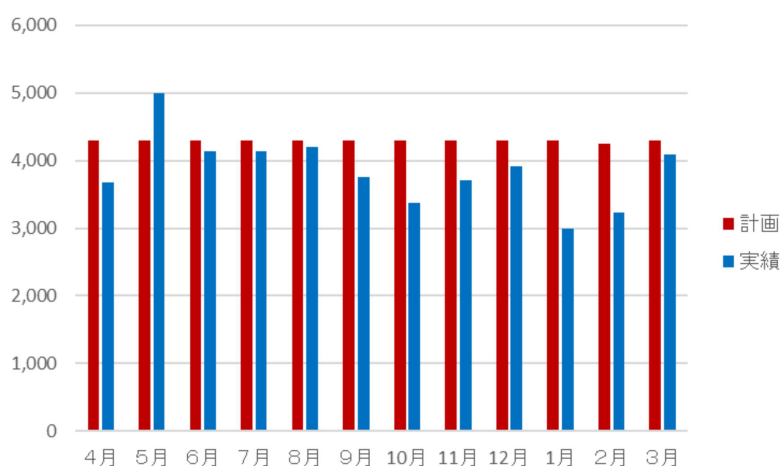
・ 前年度との比較

区 分	令和2年度 (a)	令和元年度 (b)	差 (a) - (b)	率 (%)	備 考
相談コーナー	183	134	49	136.6%	
交流コーナー	3,049	11,575	△ 8,526	26.3%	
情報コーナー	923	2,818	△ 1,895	32.8%	
作 業 室	426	882	△ 456	48.3%	
講座参加者	724	292	432	247.9%	
計	5,305	16,896	△ 10,396	33.8%	

イ ホームページアクセス数〔目標値 51,550 件、実績 46,241 件、達成率 89.7%〕

目標値より 5,309 件下回る結果となりました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	4,250	4,300	51,550
実績	3,681	4,996	4,139	4,143	4,196	3,760	3,372	3,712	3,920	2,998	3,237	4,087	46,241



ウ 講座等受講者数〔目標値 420 人、実績 761 人、達成率 181.1 %〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	0	0	0	40	40	90	40	65	50	20	25	50	420
実績	0	0	0	0	13	14	226	0	0	0	440	31	761
基礎講座							6				8		14
公募企画							206				432		638
ステップアップ												8	8
スタッフ養成					13	14	14					23	64
ネットワーク促進					10	13						14	37